


(提案様式1)

平成 24年 1月 17日

提 案 書

申請団体名 福島復興再生住宅協会
 代表会社名 株式会社 芳賀沼製作 
 代表者名 芳賀沼 養一
 代表者住所 福島県南会津郡南会津町針生
 字小坂40-1
 電 話 : 0241-64-2221
 FAX : 0241-64-2223

主な活動地域（複数ある場合は優先を付けて①, ②・・・, ⑧と表示してください）
 ※会社の現住所ではなく、住宅供給活動を行う地域としてください

⑧ 喜多方

⑥ 県北

③ 相双

⑤ 会津若松

① 県中

⑦ 南会津

④ 県南

② いわき

団体内の総会社数 (183 社)

総業種数 (47 種)

	代表設計事務所	代表工務店	林業・木材関係 事業者
会社名	(株)はりゅうウッドスタジオ	(株)芳賀沼製作	(株)赤井製材所
住所	福島県南会津郡南会津町針生字鳥井戸 1194-2	福島県南会津郡南会津町針生字小坂 40-1	福島県いわき市小川町下小川字広畑 167
電話番号	0241-64-2220	0241-64-2221	0246-83-0123
代表者名	滑田 崇志	芳賀沼 養一	鈴木 裕一
設計事務所登録番号/ 建設業登録番号/ 木材業者登録番号	第-16(007)0239号	福島県知事(般-22) 第020041号	第92093号

(提案様式 2 - 1)

連携団体内会社一覧

設計事務所 <u>15社</u> ※提案様式 2 - 2 に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	主な分野
1	難波和彦+界工作舎	東京都渋谷区	難波 和彦	建築設計
2	(有)ナスカ	東京都新宿区	八木 佐千子	建築設計
3	花塚一級建築設計事務所	相馬市	花塚 豪人	建築設計
4	(有)三春設計舎	三春町	三瓶 一壽	建築設計

施工 <u>28社</u> ※提案様式 2 - 2 に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	職種
1	(株)グリーンライフ	猪苗代町	長谷川 眞児	建築業
2	(株)ダイテック	いわき市	鈴木 裕一	建築業
3	(株)木の力	いわき市	志賀 正敏	建築業
4	柁HOME(株)	大玉村	菅野 孝彦	建築業

林業・製材業 <u>24社</u> ※提案様式 2 - 2 に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	いわき市森林組合	いわき市	根本 藏	林業
2	田島町森林組合	南会津町	室井 洋佐	林業
3	協合組合いわき材加工センター	いわき市	鈴木 裕一	製材加工
4	福島松加工協同組合	福島市	白岩 民雄	製材加工

資材メーカー <u>13社</u> ※提案様式 2 - 2 に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	主な取扱
1	AGC硝子建材(株)	郡山市	河治 仁市	ガラス建材
2	ブリジストン化工品東日本(株)	郡山市	倉石 正春	工業・インフラ資材
3	岡田電機産業(株)	いわき市	岡田 大輔	電気製品
4	クリナップ(株) いわき(営)	いわき市	鈴木 道夫	建材卸

宅建業 <u>6社</u> ※提案様式 2 - 2 に記載した数を含む				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	備考
1	(有)住宅情報	南相馬	村田 正隆	
2	(有)日宏興産	郡山市	鈴木 淳策	
3	(有)鈴木不動産	福島市	鈴木 昇	
4	(株)田浦	南会津町	田浦 英典	



(提案様式2-2) 浜通り・北①

その他 27社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	小野建築設計事務所	相馬市	小野 貞人	建築設計
2	松崎工務店	田村市	松崎 好久	建築業
3	吉田建築	田村市	吉田 和也	建築業
4	(有)石井建築工業	南相馬市	石井 芳明	建築業
5	(有)小沢工務店	南相馬市	小沢 進	建築業
6	宮下建築	南相馬市	宮下 孝	建築業
7	西内工務店	相馬市	西内 一良	建築業
8	吉田 茂	相馬市	吉田 茂	建築業
9	(株)鈴木材木店	南相馬市	鈴木 昌一	製材加工
10	シオヤ産業(株)	南相馬市	小野 行彦	建材卸
11	(有)住宅情報	南相馬市	村田 正隆	宅建業
12	小野建設(株)	相馬市	小野 貞人	建築土木
13	(株)丸東	富岡町	根本 直樹	建築土木
14	(有)グレーダー施工	南相馬市	栗原 兼郎	舗装工事
15	(株)セントラル住設	南相馬市	斎藤 一美	水道設備
16	花塚熱学工業(有)	相馬市	花塚 豪人	水道設備
17	相馬ガス(株)	南相馬市	渋谷 克之	ガス設備
18	(有)三品電設	南相馬市	三品 信一	電気設備
19	(有)小池塗装	南相馬市	小池 邦彦	塗装
20	(有)新妻板金工業所	南相馬市	新妻 伸一	板金

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
地域毎の信用金庫	10		
地域毎の産廃業	7		
地域毎の重機店	8		
地域毎の造園業	5		
地域毎の仮設リース業	5		
日本建築家協会福島地域会	10		



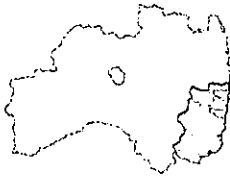
(提案様式2-2) 浜通り・北②

その他 _____ 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
21	相馬秩父生コンクリート(株)	南相馬市	加藤 貞夫	生コン製造
22	加藤建材	南相馬市	加藤 貞夫	建材卸
23	但野組	南相馬市	但野 勝彦	足場組立
24	鹿島クレーン	南相馬市	高田 博昭	建設車両
25	内馬眞一郎	南相馬市	内馬眞一郎	行政書士
26	内馬眞一郎	南相馬市	内馬眞一郎	司法書士
27	(有)トラスト	南相馬市	吉田 孝弘	保険代理店
28	花塚一級建築設計事務所	相馬市	花塚 豪人	建築設計
29				
30	日本大学工学部建築学科建築計画研究室	郡山市	浦部智義	大学
31	30については、福島全地域共通			
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1へ記載			



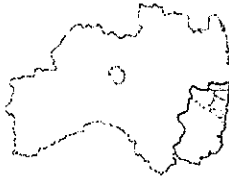
(提案様式2-2) 浜通り・南①

その他 <u>33</u> 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	白岩建築設計室	いわき市	白岩 信行	建築設計
2	デッサン一級建築事務所	いわき市	志賀 正敏	建築設計
3	(株)ダイテック	いわき市	鈴木 裕一	建築設計
4	(有)古川機工	いわき市	渡辺 平三	建設業
5	遠藤工業	いわき市	遠藤 俊一	建設業
6	共力(株)	いわき市	志賀 一成	建築業
7	小野建築	広野町	小野 謙一	建築業
8	遠藤建築	いわき市	遠藤 武美	建築業
9	(有)あんじゅ	いわき市	草野 哲司	建築業
10	後藤工務店	いわき市	後藤 今朝治	建築業
11	いわきプレカット協同組合	いわき市	和田 正光	製材加工
12	(株)荒川材木店	いわき市	荒川 仁弥	製材加工
13	(株)平木材市場	いわき市	齋藤 忠男	木材卸
14	日本製紙木材(株)	いわき市	羽山 邦彦	製材加工
15	共力(株)	いわき市	志賀 一成	製材加工
16	遠野興産(株)	いわき市	中野 光	製材加工
17	常盤林業(株)	いわき市	西山 申一	製材加工
18	吉源木材(株)	いわき市	吉野 誠二	製材加工
19	(有)高林材木店	いわき市	高林 一男	製材加工
20	(株)佐川林業	いわき市	佐川 吉一	製材加工

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			



(提案様式2-2) 浜通り・南②

その他 _____ 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
21	リビングソーラー	いわき市	小野 信彦	太陽光発電
22	クリナップ(株) いわき営業所	いわき市	鈴木 道夫	住宅設備
23	共力(株)	いわき市	志賀 一成	宅建業
24	(株)久田設備工業	いわき市	久田 晃由	水道設備
25	ジュシ総合設備(株)	いわき市	田淵 文男	水道設備
26	常盤共同ガス(株)	いわき市	猪狩 謙三	ガス設備
27	(有)トイダ電気	いわき市	樋田 和弘	電気設備
28	(有)田辺電気	いわき市	田辺 正視	電気設備
29	(有)金成塗装店	いわき市	金成 大	塗装業
30	小笹左官工業	いわき市	小笹 博明	左官業
31	雲藤左官工業	いわき市	雲藤 利夫	左官業
32	(有)鈴木建具店	いわき市	鈴木 英之	建具店
33	金沢内装(株)	いわき市	金孝 孝枝	内装業
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			



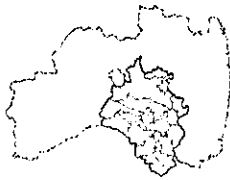
(提案様式 2-2) 中通り・北

その他 <u>13</u> 社 ※提案様式 2-1 に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	鈴木建築一級建築士事務所	大玉村	鈴木 弘明	建築設計
2	(株)エム設備設計事務所	福島市	斉藤 義彦	建築設計
3	(株)建奨社	福島市	佐藤 寛紀	建築業
4	鈴木工務店	二本松市	鈴木 敏明	建築業
5	渡昭工務店	飯坂市	渡部 昭	建築業
6	吾妻林業(株)	福島市	白岩 勝子	製材加工
7	(株)平栗	二本松市	平栗 清一	畳製造
8	弘栄建設工業(有)	二本松市	鈴木英子	建築土木
9	(株)NIPPON	福島市	丸山 良男	舗装工事
10	(株)松浦建工所	伊達市	松浦 光子	水道設備
11	(有)三和設備	福島市	菅野 賢治	水道設備
12	(有)森設備	福島市	森 茂雄	ガス設備
13	西部電設(株)	福島市	丹治 貫	電気設備
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※提案様式 2-1 に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			



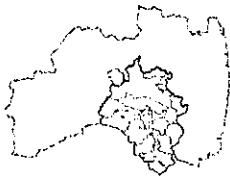
(提案様式2-2) 中通り・南①

その他 <u>34</u> 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	(株)グリーンライフ	郡山市	長谷川 眞児	建築設計
2	(有)アコード建設 リア設計事務所	郡山市	黒澤 昌広	建築設計
3	(有)アコード建設	郡山市	黒澤 昌広	建築業
4	郡山チップ工業(株)	郡山市	大内 正年	製材加工
5	(株)サンキョウクリエイト	郡山市	柳沼 利昭	建材卸
6	安達屋金物(株)	郡山市	大藤 隆士	建材卸
7	吉野石膏(株) 郡山営業所	郡山市	込山 典人	建材卸
8	(株)石塚防災商事	郡山市	石塚 征夫	消火器具
9	(有)たむら農建	田村市	渡辺 洋子	建築土木
10	(株)武藤建設	本宮市	武藤 盛雄	建築土木
11	(株)大山組	郡山市	大山 進	建築土木
12	東亜道路工業(株)	郡山市	及川 宣彦	舗装工事
13	(有)榊枝建材	平田村	榊枝 政彦	碎石
14	広洋設備(株)	須賀川市	廣瀬 洋子	水道設備
15	東部液化石油(株)	郡山市	佐々木 勝彦	ガス設備
16	(有)総合電設協進	郡山市	佐久間 宏	電気設備
17	渡辺塗装	郡山市	渡辺 昌利	塗装業
18	(有)上田建工	郡山市	上田 玲子	断熱工事
19	富岡左官	須賀川市	富岡 美智雄	左官業
20	(株)ソエタルーフ	天栄村	添田 栄治	屋根工事

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1へ記載			



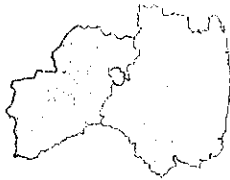
(提案様式2-2) 中通り・南②

その他 _____ 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
21	(株)山正	郡山市	山岡 章	足場組立
22	(株)ヤマト創業	郡山市	阿岸 辰男	シーリング
23	(有)セシール	郡山市	矢吹 次男	シーリング
24	(株)ヤマト創業	郡山市	阿岸 辰男	白アリ駆除
25	(株)南クレーン	郡山市	佐藤 征栄	建設車両
26	(株)レンテム	三春町	鈴木 武治	建設重機
27	千代田産業(有)	郡山市	根本 克則	建材リース
28	(株)レンタルのニッケン	郡山市	佐藤 仁一	建材リース
29	(株)東京クリーン	郡山市	大原 定雄	産廃業
30	(株)青南商事	郡山市	庄司 政宏	産廃業
31	モットーキュー(株)	郡山市	毛利 剛	地盤調査
32	富士火災海上保険(株)	郡山市	藪内 光雄	損害保険業
33	石井泰子行政書士事務所	郡山市	石井 泰子	行政書士
34	石井泰子行政書士事務所	郡山市	石井 泰子	ファイナンシャルプランナー
35				
36				
37				
38				
39				
40				

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1へ記載			



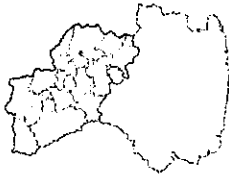
(提案様式2-2) 会津①

その他 55社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
1	(株)芳賀沼製作	南会津町	芳賀沼 伸	建築設計
2	(有)太陽設計	南会津町	大竹 治	建築設計
3	田浦一級建築士事務所	南会津町	田浦 英典	建築設計
4	東信建設工業(株)	猪苗代町	東條 泰治	建築業
5	(有)北成産業	北塩原村	佐藤 憲一	建築業
6	(株)想	南会津町	馬場 賢	建築業
7	(株)オグラ	南会津町	小椋 敏光	建築業
8	桑原建築	猪苗代町	桑原 秀司	建築業
9	(株)一代興業	猪苗代町	佐賀 晋	建築業
10	伊南村森林組合	南会津町	河原田 信弘	林業
11	館岩村森林組合	南会津町	鈴木 秀明	林業
12	みなみあいづ森林ネットワーク	南会津町	室井 武	林業
13	大日本木材防腐(株)	会津若松市	鈴木 隆一郎	製材加工
14	(株)伊南川木材	南会津町	馬場 善恵	製材加工
15	(有)国分材木店	猪苗代町	国分 清正	製材加工
16	関根木材工業	南会津町	関根 健裕	製材加工
17	伊藤金属(株) 会津営業所	会津若松市	後藤 清三郎	建材卸
18	(株)田浦	南会津町	田浦 英典	建材卸
19	(有)笠間建材所	猪苗代町	笠間 知男	建材卸
20	風間金物店	会津若松市	風間 善和	建材卸

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			



(提案様式 2-2) 会津②

その他 _____ 社 ※提案様式 2-1 に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
21	協立塗料(株) 会津営業所	会津若松市	尾形 和昭	塗料
22	(株)小泉東北	会津若松市	三浦 嘉夫	住宅設備
23	渡辺パイプ(株)	会津若松市	小林 純一	住宅設備
24	三立道路(株)	会津若松市	浅沼 秀俊	建築土木
25	田島土建工業(株)	南会津町	浅井 浩志	建築土木
26	(有)笠間設備工業	猪苗代町	笠間 大巳	水道設備
27	八ッ橋設備(株)	会津若松市	笠原 昭	水道設備
28	会津ガス(株)	会津若松	相馬 祥平	ガス設備
29	(有)会津燃料	猪苗代町	鈴木 明	ガス設備
30	(有)昭電設	会津若松市	渡部 清	電気設備
31	(有)大栄電気	下郷町	湯田 栄二	電気設備
32	玉川塗装	下郷町	玉川 徳夫	塗装業
33	神田塗装	南会津町	神田 一義	塗装業
34	(有)遠藤工業所	猪苗代町	遠藤 長一郎	基礎工事
35	猪苗代生コン(株)	猪苗代町	東條 一雄	コンクリート製造
36	鮫川生コンクリート(株)	下郷町	国分 進	コンクリート製造
37	(有)二瓶建材店	南会津町	二瓶 浩明	碎石
38	星建材運輸(有)	南会津町	星 信雄	碎石
39	渡部左官工業	南会津町	渡部 武治	左官業
40	弓田建具店	南会津町	弓田 浩美	建具店

※提案様式 2-1 に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			



(提案様式2-2) 会津③

その他 _____ 社 ※提案様式2-1に記載した数を除く				
No.	会社名	本社所在市町村	代表者名	業種
41	猪股豊店(有)	南会津町	猪股 泰幸	豊製造
42	インテリア・アクツ	南会津町	阿久津 善幸	内装業
43	(株)K's クラフト	会津若松市	長尾 健一	足場組立
44	(株)高山重商店	南会津町	高山 秀雄	燃料
45	(株)菊地商会	南会津町	菊地 義久	重機レンタル
46	(株)南栄通商	南会津町	三留 博	重機レンタル
47	両沼貨物自動車(株)	会津若松市	板橋 忠雄	建設車両
48	きねむち工業(有)	会津若松市	杵 藤一郎	建設車両
49	(有)湯島運輸	会津若松市	湯田 一盛	運送業
50	薫栄(有)	南会津町	千葉 薫	産廃業
51	(株)ピコイ	会津若松市	佐々木 ベジ	地盤調査
52	(有)会信	会津若松市	大竹 義一	保険代理店
53	高橋清興行政書士事務所	会津若松市	高橋 清興	行政書士
54	会津信用金庫	会津若松市	星 幹夫	ファイナンシャルプランナー
55	会津信用金庫	会津若松市	星 幹夫	金融機関
56				
57				
58				
59				
60				

※提案様式2-1に記載できない会社を記入してください。

今後、連携を検討している業種及び会社数

業種	会社数	業種	会社数
6-1 へ記載			

(提案様式3)

団体の活動内容（実績）

団体の過去3年間における活動内容 【住宅には『木造公営住宅』含む】

1. 年間住宅設計棟数（団体内の設計事務所合計の3年間平均）

240 棟 うち、設計性能評価取得 棟
うち、長期優良住宅の認定 1 棟

2. 年間住宅新築施工棟数（団体内の工務店等合計の3年間平均）

1100 棟 うち、建設性能評価取得 棟

3. 年間住宅増改築施工棟数（団体内の工務店等合計の3年間平均）

300 棟

4. 年間土地販売件数（団体内の宅建業等合計の3年間平均）

45 件

5. 県産材・地域材の活用実績（○をつけてください）

- ① a. 材料の半分以上は県産材・地域材を活用 b. 建て主の要望に合わせて対応
c. 材料があれば県産材・地域材を活用 d. 県産材・地域材は活用したことはない

6. 再生可能エネルギーの導入（○をつけてください）

- a. ほぼ100%導入している ② b. 建て主の要望に合わせて対応
c. 利用したことはない

7. 景観、地域特性への配慮（項目ごとに○をつけてください）

- ① a. ほぼ100%配慮している b. 建て主の要望に合わせて対応
c. 配慮したことはない

8. 各種手続き等代行（項目ごとに○をつけてください）

①登記 ②減税 ③融資 ④保険

- ① a. ② a. ③ a. ④ a. 代行（協力）を常にしている
b. b. b. b. 建て主より依頼があればしている
c. c. c. c. 行っていない

9. 施工した住宅の維持管理（○をつけてください）

- ① a. 期間を定めて点検 b. だいたいの期間が過ぎたら点検
c. 建て主の依頼に合わせ点検 d. 点検業務は行わない

10. 住宅情報履歴の作成（○をつけてください）

- ① a. 新築だけでなく、増改築時も作成 b. 新築時のみ作成
c. 要望があれば作成 d. 作成したことがない

11. その他、実績のPR（カッコ内を参考にし、削除して記載してください。）

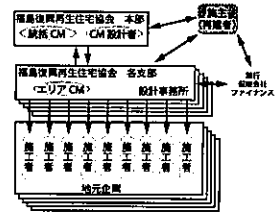
「長期優良住宅」「設計・建設性能評価」「県産材の安定確保」「被災者の住宅相談」
「団体の連携を広げる（NPO法人の認定等を取得する）」「展示場建設」「若手の育成」
「団体独自の技術（工法）を開発・普及」「地域産業の活性化に寄与する活動」
「省エネルギー・再生可能エネルギーの活用」「住宅履歴情報」「仮設住宅建設」

(提案様式 4-1)

団体の基本方針・具体的手法

※「基本方針例(別紙Ⅱ)」を参考にしてください。

1. 連携体制の規模、多様性

<p>(基本方針)</p> <p>5つの地域による展開 県内全域を5つの地域に分け、住宅建設に係る土地購入から完成引き渡しまで、各エリアでそれぞれの専門が対処できるようにする。福島復興再生住宅協会本部においては、標準設計プランの作成、各施工システム等の調整等にあたる。</p> <p>連携団体の広がり 日本大学工学部建築計画研究室をはじめ大学等の研究機関との連携とふくめ180以上の団体により構成されている。</p> <p>コンストラクションマネージャーとしての役割 地元の中小建設業者が建設に参加できるように、福島復興再生住宅協会内の設計者、施工コアメンバーが中心となり、施工支援を行なう。またコスト等についても建主に対しても明確化できるようにし、施工をコントロールする。</p>	
<p>(具体的手法)</p> <p>5つの地域 5つの地域は浜通り北、浜通り南、中通り北、中通り南、会津地域のエリアとし、それぞれの地域において、設計(CMの役割も含む)、工務店、施工各業者、宅建業、資材メーカー等のシステムを確保。各地域において施工が一通り行なうことのできるようにする。</p> <p>地域間の連携 職人が不足すると予想されるいわき・郡山地域については会津等より支援をおこなえるようなネットワークとする。</p> <p>本部の役割 本部を郡山に置き、各地域でのネットワークをサポート統括する本部を設置し、標準設計プランの設計・開発、材料等施工体制、システムの構築を行なうようにする。協会としての定款についても定め、連携した動きができるようにする。</p>	

2. 事業の実現性(供給計画 3カ年程度)

<p>(基本方針)</p> <p>これまでの実績 福島応急仮設住宅における施工ネットワークを生かす。(中心メンバーが、日本ログハウス協会東北支部、福島ログハウス共同体で平成23年度において約600戸の実績があり。)また団体内としても1100戸/年の供給実績がある。</p> <p>長期に渡り実現可能な施工体制 福島ログハウス共同体のメンバーを5地域のそれぞれの主体とし、各社間の連携により、一社の倒産等の場合でも保管し合うシステムとする。</p> <p>実現可能な供給計画 供給計画として 1年目 300棟 モデルハウス建設(いわき・郡山地域) 2年目 500棟 3年目 500棟程度の供給が可能な体制とする。</p> <p>団体解散後 解散後においても各メンバーにより、メンテナンス工事を行なうようにする。</p>
<p>(具体的手法)</p> <p>木材 県内の林業関係者による早期の材料確保(県内の森林資源としては十分な量がある。)</p> <p>材料加工 製材については、300棟/月の加工が可能(福島県応急仮設住宅の実績より)</p> <p>資材 資材メーカーにおいては全国と連携をとり材料が不足の際も対応可能となる体制。</p> <p>労力 福島県全域とすることで地域間の移動が可能。また日本ログハウス協会のネットワーク等全国としても応援体制が整っている。</p> <p>設設・CM プランについても標準化し、施主とも共有可能で各地域の担当者が対応しやすいようなプランとする。</p>

(提案様式4-2)

団体の基本方針・具体的手法

3. 復興住宅コンセプト (維持管理、プラン、環境対応、コスト、地域性等)

(基本方針)

福島県における避難状況・被災者の立場に立った復興住宅プランの提案 福島県においては、原発避難の状況もあり、復帰時期については長期化も予想される事から、避難場所周辺において復興住宅が建設されることも予想される。そのため、その後の移動、復帰も考えられることから、移設・転用に対応したプランとする。
求めやすい価格 価格としても避難者が、自力再建できるよう 400 万円台から住宅が施工できるようにする。
ログ仮設住宅の再利用、高性能で解体移築が可能な乾式構法、一室空間によるフレキシブルな平面計画、コンパクト化、集合化と公共機能の付加、街並と風景

(具体的手法)

ログ材・パネル化による対応 復興住宅案の一部として移築・解体が容易なログハウス工法によるもの提案
軸組工法によるものについても、解体・転用の可能性を考えた復興住宅の提案。場合によっては復帰先にも住宅を移転できる。
超ローコストハウスの提案・将来の増築可能性 自力再建でも費用的に無理のない 400 万円台からの価格設定。将来的な資金増額に応じた増築可能性への対処。
維持管理・メンテナンス対応の維持 メンテナンス計画の明示と増築プランの明確化とメンテナンス部門により、将来のメンテナンス需要に対応する。
住まい方の状況の調査 日本大学工学部建築計画研究室と協同し、実際の住まい方を調査を行ない、課題を明らかにし、2 年目、3 年目の復興住宅の建設の際に課題をフィードバックさせる。

4. 品質、性能確保

(基本方針)

第 3 者による品質の確保 長期優良住宅申請、建設住宅性能評価制度等にも設計時また協会としても対応できるようにする。
住宅情報履歴等の整備 将来の増改築に対応するために福島復興再生履歴情報を保管しておく。
シックハウス対応 ログ材、無垢材の素材を基本としシックハウスに完全対応する家
定期点検 建設後の 1 年、3 年、5 年の定期点検を竣工後行なうようにする。

(具体的手法)

長期優良住宅住宅認定、住宅性能評価 住宅情報履歴 協会内において新築時の図面・申請関係、維持管理段階においては、メンテナンス履歴等も一本化し、情報項目を標準化し保存して行くようにする。
シックハウス対応 竣工後シックハウス検査についても全棟行なう。またシックハウスの要因となる建材を出来るだけ用いない。

5. 県産材・地域材の活用

(基本方針)

県産材・地域材の活用 福島県産材を積極的に使うとともに、住宅を構成する材料の中でログ工法とすることで在来の 2~3 倍の木材を使用することができ、林業の活性化に寄与する。
県産材・地域材の安定的な流通ルート 福島県応急仮設住宅においても原木で 20000m³ の材料を確保した。それらのルートも復興住宅において行かされるものである。

(具体的手法)

加工の能力 森林資源としていわき・会津周辺からの伐採を想定し、製材については福島県応急仮設住宅の実績から、(仮設住宅時においては 2000 m³)いわき材加工センターにおいて、20 坪の住宅で 在来で 300 棟/月 ログ工法で 75 棟/月の加工が可能である。

6. 各種手続き代行

(基本方針)

家づくりに係る各種手続きについて、希望する建て主に対してサポートできるようにする。
また家づくりにおいて必要な手続きについては、マニュアルをつくり、建て主に配布し、不慣れな方においても不備の無いようにする。

(具体的手法)

資金計画の相談 減税手続き 火災保険等の紹介

会津信用金庫が中心となり、県内各地域の信用金庫と連携しており、融資の窓口相談に応じられるシステムの確立。地域ごとでのフィナンシャルプランナーを通じて土地購入から税金面までのアドバイスを一貫して行なう。

登記の手続き

故郷を離れた所で新しい生活を始める人も多く、地域ごとの提携する行政書士に依頼できる体制をつくり、スムーズに登記手続きが完了するようにする。

7. ふくしま（地域）らしさの取り入れ

(基本方針)

まちづくりの復興住宅

まち自体の機能を失いかけた人達に対し、今後の過疎化対策を踏まえた、新しい共同体を設立するための下地となる小規模コミュニティを形成する。居住者の定住のための、区画整備と並行した作業として、双葉郡独自の原風景の形成を目指す。

各地域の風土にあった住宅計画 県内の浜通り、中通り、会津の気候にあった住宅とし、各地域に応じた建物の工夫を行なう(屋根形状の工夫、風除室の重要性など)

(具体的手法)

集落形成によって社会自立効果を促進するための、仕掛けを創りだす。(コミュニティ内の店舗営業等を起爆剤とする) また復興住宅群が町となるように、小分けの庭が全体的に大きく使える等の区画割の工夫などを行ない、相互のやり取りが生まれるきっかけのあるまちづくりとする。

8. 地域における先導性（活動）

(基本方針)

双葉郡の町村にとって、原風景を作り出す事には重要な意味を持つ。特に既存の居住区に戻れない間に人生を終る人も少なくはないはずであり、復興住宅として住む意味の中には機能や住環境だけにとどまらない、同郷のコミュニティ作りと同調する街並み景観を必要がでてくる。地場材を基調としたログの構造は安心感を生む効果もあり、大屋根との組合せは新たな原風景を作り出す事になる。

(具体的手法)

既存の住宅地の中のまとまった土地に作られることも予想され、庭の共有化等これまでの住宅地にはなかった風景を作り出すことができる。区画割やこうした土地の販売についても大学、専門家との検討の中で実現させたい。

(提案様式4-4)

団体の基本方針・具体的手法

9. 原子力事故及び風評被害対応

(基本方針)

製材過程における風評被害対応 福島県産材の放射能への不安についても、検査等の段階を踏むことで対応できるようにする。

施主の立場 施主の立場に立った放射能対策を行ない、いくつかの実験的な試みについても、建設業の立場で柔軟に対応できるようにする。

(具体的手法)

製材における対応 木材加工時において、樹皮の水による洗い流しとともに皮むきを行なう。皮については洗浄により放射性物質は大部分を洗い流すことができる。また樹皮(バーク)保管場所についても敷地内で保管しておく。また出荷時においては、それぞれの材木において検査を行なう。

敷地・土壌における対応 敷地土壌においても、測定器による放射能調査を行う。また放射線の値が高い場合においては、敷地周辺のコンクリートによる遮断等の提案、実施を行なうものとする。

プランにおける対応 実施設計時において、日本大学工学部浦部研究室と協力し、調査に基づいたプランを提案する。一時帰宅の際、風除室等での払い落としの要望等についても考慮する。

換気 24時間換気が標準であるが、外気取り入れについてもコントロールできるようにし、密閉の場合は結露等の問題について考慮する。既存法規との調整を進める。第3種換気によるコントロールにより空気の流れをコントロールする方法についても検討する。

10. 省エネルギー、再生可能エネルギーの活用

(基本方針)

住宅プラン 通風・断熱・気密におけるパッシブデザインにおいては、復興住宅提案の基本プランとし、地中熱利用や太陽光発電等のアクティブデザインについては、要望により対応するものとする。

製材過程 製材過程において、木材の人工乾燥時にバイオマスエネルギー(木の端材)の利用を行なう。

(具体的手法)

パッシブデザイン 断熱気密性の向上 縁側庇の設置により、日陰空間の創出、冷えた外気の取り入れについて考慮する。これらは基本プランの中で取り入れるようにする。

アクティブデザイン 日本大学工学部建築計画研究室の口ハスの技術を仮設住宅にも取り入れる。地中熱利用、(地中熱杭等による冷暖房の負荷軽減)、太陽エネルギーの利用にも対応できるようにする。これらは選択によるものとする。

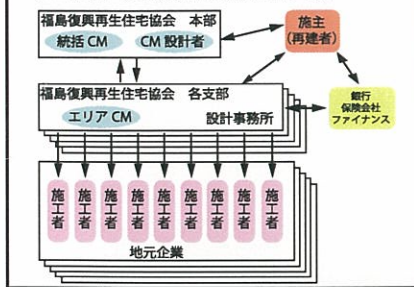
製材過程 赤井製材所が所属するいわき材加工センターにおいて、人工乾燥の際、バイオマスエネルギーによって乾燥を行なっている。建設時の環境についても考慮を行なうようにする。

福島復興再生住宅協会 復興住宅

団体概要 福島県東部仮設住宅建設における福島ログハウス共同体を中心メンバーとした180社程度の連携団体。県内全域を5地域に分け、それぞれの地域での住宅の打ち合わせ、建設を予定している。
 代表工務店 株式会社 芳賀沼製作 代表設計事務所 株式会社 はりゅうウッドスタジオ
 林業・木材事業者 株式会社 赤井製材所

1. CM (コンストラクション・マネジメント) 体制による地元による施工体制の確立

- 1) 地元の中小建設業のネットワークを生かした施工体制を行う。
- 2) 設計・施工の管理者がCMの主体となって、施工、設計施工支援、役所対応等を行う。
- 3) 情報公開によりコストを明確化し、工程管理等の各種マネジメントを行うことによって、下請施工者においても無理のないコストでの施工を可能とする。



2. 福島県産材を使い、地場産材の流通を促進し、県内産業再生に貢献すること

ログ工法は、在来工法の2~3倍以上の材木を使用するため、県内の林業において在来工法とくらべて多くの雇用を生み出すとともに県内の林業の発展に貢献する。

1) 県内の木材流通を促進するための仕掛けの1つとして、内外装の木材仕上げ材だけに留めず、断熱材や室内環境維持に貢献するための木質系構造材の需要を高める。

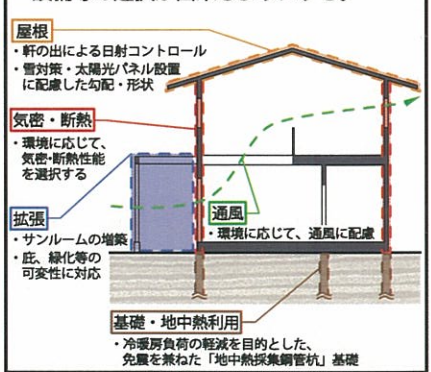
3. 仮設住宅ログ材の再利用

- 1) 廃棄物削減のため既存のログハウス仮設住宅の再利用も考慮に入れた工法の提案。
- 2) 懸念される材料の劣化についても、塗装、外皮や断熱材等を付加する等の補修工程をプラスし、長期に渡って住まれる復興住宅として利用できる。
- 3) 他の工法の仮設住宅等においても、設計チームにより再利用の可能性について提案を行う。

4. エコロジカルな省エネ計画

パッシブデザインの標準化と、選択可能な地中熱等のアクティブ技術の提供を目指す。

- 1) ログハウスの思想を取り入れ、自然エネルギーを生かした住まいの提案 (地中熱、太陽光エネルギー等)。
- 2) 地域の気候風土に対応し、必要に応じた設備等の選択ができるようにする。



5. 福島の風土に合わせたコミュニティと住宅の提案

まちとしての機能を失いかけた人達に対し、今後の過疎化対策を踏まえた、新しい共同体を設立するための下地となる小規模コミュニティを形成する。居住者の定住のため、区画整備と並行した作業として、双葉郡独自の原風景の形成を目指す。

- 1) 集落形成によって社会自立効果を促進するための、仕掛けを創り出す (コミュニティ内の店舗営業等を起爆剤とする)。

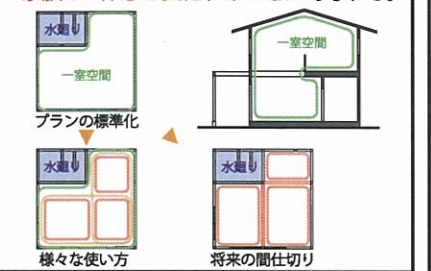
6. 解体移築が可能な工法を提案

福島県の復興住宅の特徴の一つに、段階的に復帰する事が考えられる。そのための解体移築や転用に対応する事が可能な復興住宅について提案したい。

- 1) ログ材は外装、断熱材、構造材、内装等を兼ねる。用途の転用や、解体転用時においても有利である。他に工期短縮、製品品質管理の容易さもあげられる。
- 2) パネル化による軸組復興住宅の提案。

7. 用途の変化に対応した一室空間によるフレキシブルな平面計画

- 1) 一室空間、水廻りの集約によるプランの標準化により、施主の様々な使い方や要望に可能な限り対応する。
- 2) 施主の暮らし方の変化に応じ、間仕切等の変更による再編成が可能。また、以上については継続的な雇用の創出にも繋がる。
- 3) 快適性を得るため、住み手である家族相互の話し合いが必要となり、その努力が家族の一体感を強化することに寄与する。



8. ローコスト化への対応と発展可能なプラン

- 1) 大量の復興住宅が必要となる事から自力再建が予想され、求めやすい価格として400万円台からの超ローコスト住宅を提案。
- 2) 部材等の標準化、工法の単純化により、ローコスト化を実現する。
- 3) その他、仮設住宅建設への参加による、弱点も含めた様々な知識と経験を活かしながら、ローコスト化を実現する。



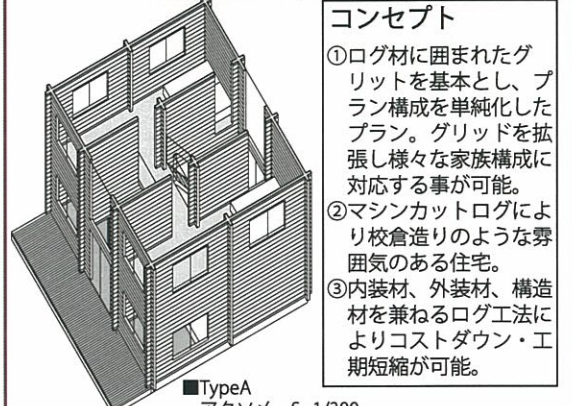
9. 近隣自治会規模の集合化を前提とし、小規模公共施設・学習塾・店舗などを核とした、10~20棟のコミュニティ形成を目指す

建設時には戸建住宅としての自立を確保するが、将来高齢化する単身者又は夫婦のライフスタイルの変化により、孤独死などの防止策として、集合化を配慮した計画とする。

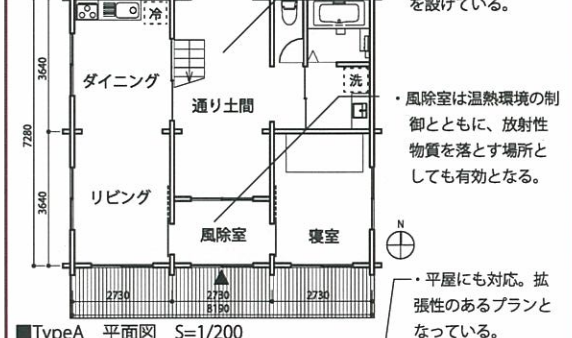
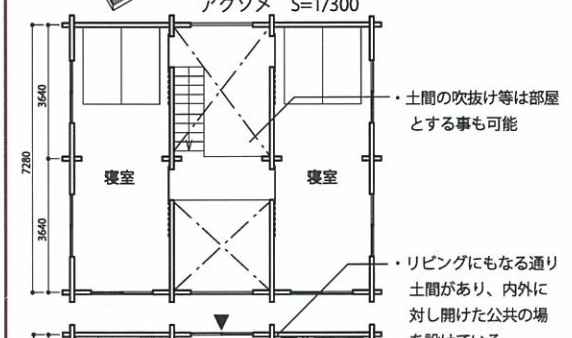
- 1) 小さな箱の集合により、大きな庭、公共スペースを作り出す工夫を行う。
- 2) 道路等外に開くことのできる標準プランとし、高齢者の孤独死などの問題に配慮したコミュニケーションが生まれやすい区画とする。
- 3) 団地開発にあたっては、全体が生きる配置デザインを行い、その上で個々の設計も行なうようにする。
- 4) 復興住宅団地においては、集会所、保育所、ケアセンター等、それぞれの団地の特性に合わせた提案を行なうものとする。

ログ積み構法

ログ・ベースプラン



コンセプト
 ①ログ材に囲まれたグリッドを基本とし、プラン構成を単純化したプラン。グリッドを拡張し様々な家族構成に対応する事が可能。
 ②マシンカットログにより校倉造りのような雰囲気のある住宅。
 ③内装材、外装材、構造材を兼ねるログ工法によりコストダウン・工期短縮が可能。

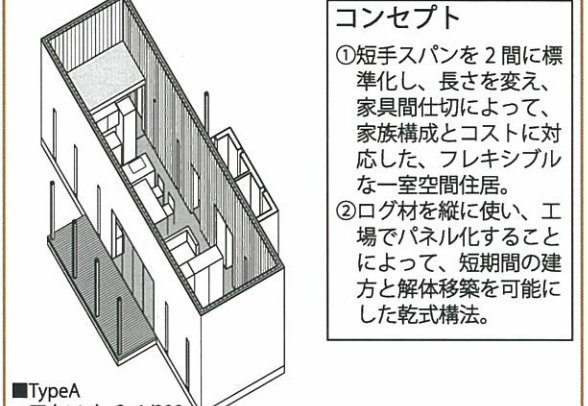


■TypeA	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	70.79 21.45
延床面積	102.67 31.10
概算工事金額	1300万円

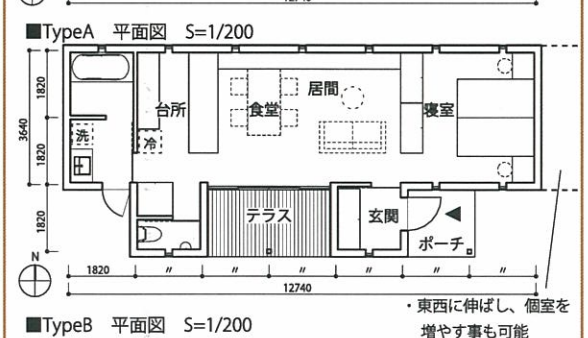
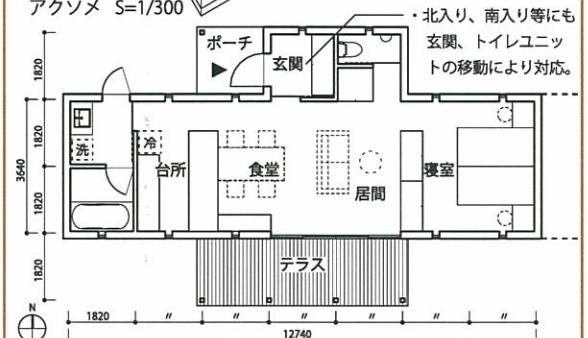
■TypeB	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	41.00 12.42
延床面積	38.02 11.52
概算工事金額	600万円

ログ・箱の家

ログ・箱の家



コンセプト
 ①短手スパンを2間に標準化し、長さを変え、家具間仕切によって、家族構成とコストに対応した、フレキシブルな一室空間住居。
 ②ログ材を縦に使い、工場パネル化することによって、短期間の建方と解体移築を可能にした乾式構法。

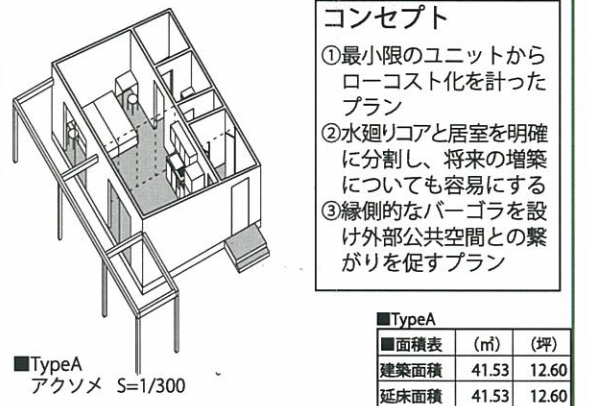


■TypeA	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	66.25 20.0
延床面積	53.00 16.0
概算工事金額	750万円

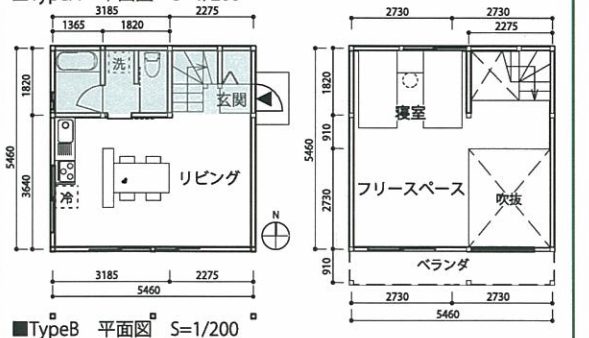
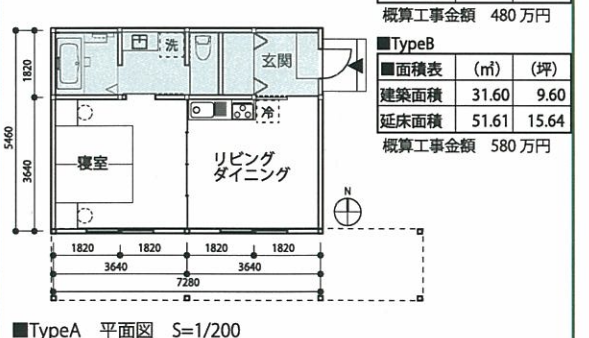
■TypeB	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	62.93 19.0
延床面積	53.00 16.0
概算工事金額	750万円

在来軸組工法

コンパクトハウス



コンセプト
 ①最小限のユニットからローコスト化を計ったプラン
 ②水廻りコアと居室を明確に分割し、将来の増築についても容易にする
 ③緑側のバーゴラを設け外部公共空間との繋がりを促すプラン

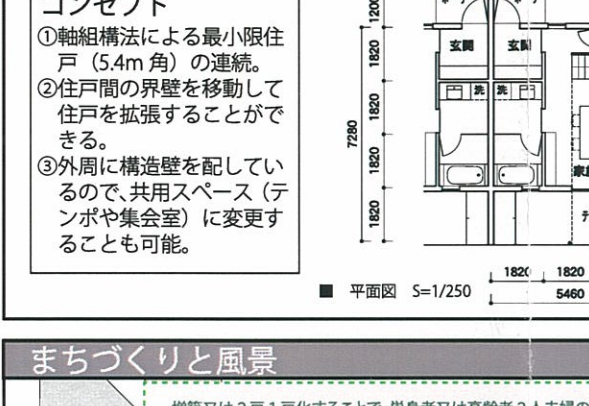


■TypeA	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	41.53 12.60
延床面積	41.53 12.60
概算工事金額	480万円

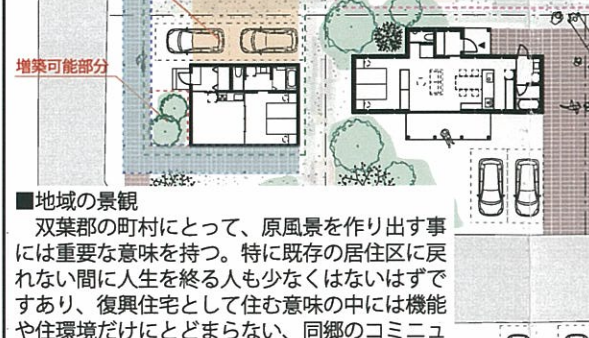
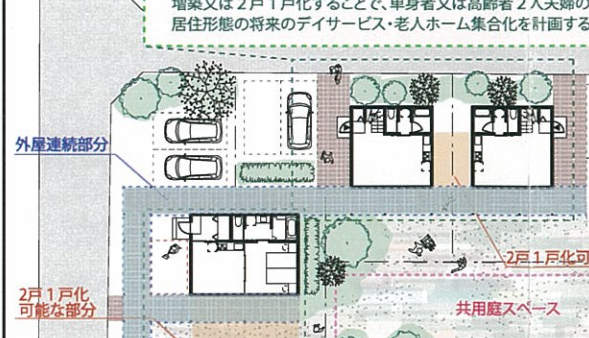
■TypeB	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	31.60 9.60
延床面積	51.61 15.64
概算工事金額	580万円

集合住宅

コンパクトハウス



コンセプト
 ①軸組構法による最小限住戸 (5.4m角) の連続。
 ②住戸間の界壁を移動して住戸を拡張することができる。
 ③外周に構造壁を配しているため、共用スペース (テニスポヤ集会所) に変更することも可能。



■TypeA	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	41.53 12.60
延床面積	41.53 12.60
概算工事金額	480万円

■TypeB	
■面積表 (㎡) (坪)	
建築面積	31.60 9.60
延床面積	51.61 15.64
概算工事金額	580万円

まちづくりと風景

